

—会社の沿革を教えてください。  
20年前の1994年に創業しました。当初は太陽光温水器を販売し、数年後に太陽光発電設備を取り扱うようになりました。当時は興味、関心のある人が少なく、あまり知られていませんでしたが、2011年の東日本大震災や福島第1原発事故などを機に、大きく伸びました。

—新規参入が増え、業界は競争が激しくなっています。

—会社の歴史が古く、経験を積み重ねている分、信用力が強みになって

お客様の満足まで発電したい

**TOYOSOLAR**

東洋ソーラー株式会社



代表取締役社長

ふじはら かずみ  
**藤原 一美氏**

います。「いいものをつくっている」心にかかわる病院や福祉施設などに、お客さまに分かっていただいて 提案していきたくて考えています。おり、おかげさまで業績は伸びています。今年はそのような事業展開を計画します。現在、太陽光発電は一般住宅 画されています。向けが中心で、8割を占めます。残 20周年を迎えたのを機に、会社を 県にも広げていきたくて思っています。

## 信用力強みの太陽光発電

り2割が産業向けです。住宅向けの もう一段、飛躍させたいと考えています。実績は年間200件に上り、県内ト ます。4月に出雲市斐川町で677 リフォーム、LED事業のほか、さまざまな業種の企業との提携に向け、校からの発注も多く、今後は災害対 大規模な太陽光発電施設をそれぞれ 検討しています。

—中長期的な経営の在り方、方針をお聞かせください。

「未来」を見るようにしています。企業は変わり続けなくてはいけません。自問自答し、スタッフにも投げかけています。電気は暮らしの中です。重要です。電気は暮らしの中です。要なら新エネルギーも取り入れていきます。時流を見ながら、子どもたちが暮らしやすい社会や地域を提案していきたくて思っています。